

前立腺癌地域連携クリニカルパス運用マニュアル

H22年8月作成

1. クリニカルパス運用の目的】

前立腺癌の疾患管理が地域ぐるみでできる

疾患管理の標準化

再発・合併症管理の適正化

患者へ情報を可視化することにより、医療に参画している意識の向上と選択肢を提供する

2. クリニカルパス適応患者】

前立腺癌の疑い患者群

前立腺癌と診断された患者群

癌の告知された患者

3. 地域連携パス関連シート】

1). 前立腺がん(疑い含む)疾患アルゴリズムシート

2). パスA: PSA4以上の患者

パスB: 前立腺癌ホルモン療法を選択した患者 * H22年はパスA,Bを運用

パスC: 前立腺全摘除術施行患者

パスD: 放射線療法施行患者

パスE: 無治療経過観察の患者

3). 診療情報提供書は別途準備

4. 運用方法】

1) パス適応患者に対し説明のうえ、連携パスファイルを準備しわたす

2) 例) パスA:

・PSA4以上の患者: パスシートを挟んだファイルと紹介状をもって来院

・コピーを2部とる(患者フォルダ・パス管理室用)

・患者と一緒にファイルが動く(基本: 医療の可視化)

: そのため、癌告知が可能な患者に限局すること

・急性期での入院・治療中はパス原本・ファイルは、急性期で管理する

地域へ移行時、スキャン(A4)とコピー2部(患者フォルダ・パス室用)とり、原本をファイリングして渡す

・パス管理室分コピーの回収は、週1回パス専任がおこなう

5. クリニカルパスエンドポイント】

1) 死亡(原因)

6. 前立腺癌で重要な管理事項】

1) 癌の再発に伴う病状の変化

2) 転移

